

一般外来診療のご案内

受付時間 8:30 ~ 11:00
(一部、受付時間が異なる診療科がございます)

※当院を初診で受診する際は、まず、かかりつけ医に受診し、専門的な治療や検査または入院などが必要とされた場合に、紹介状を持参していただきますようお願いいたします。初診時に紹介状がない場合には、**選定療養費5,000円(税込)**をお支払いいただくこととなりますので、ご理解のほどお願いいたします。

ゴールデンウィーク・創立記念日
一般外来診療休診のご案内

当院の休診日は日曜・祝日・創立記念日・年末年始となっております。**ゴールデンウィーク期間の祝日、創立記念日は、一般外来は休診**となります。なお、救急の場合は救命救急センターにて承っております。その際、お電話でご相談いただければ来院されますようお願いいたします。

5月	月	火	水	木	金	土	日
4/27	4/28	4/29 昭和の日	4/30	1	2	3 憲法記念日	
4	5	6 勤労感謝の日	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	16	17	
18	19	20	21	22	23	24	
25	26	27	28	29	30 創立記念日	31	

当院の直近3カ月の診療実績

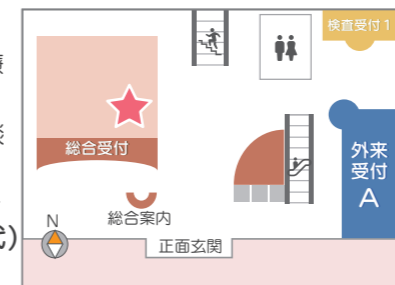
	令和元年12月	令和2年1月	令和2年2月
延外来患者数	31,377人	29,360人	28,191人
実入院患者数	1,424人	1,460人	1,292人
平均在院日数	11.5日	12.9日	12.6日
救命救急センター患者数	1,476人	1,307人	1,192人
救急車台数	673台	604台	556台
手術件数	560件	597件	540件

がん相談支援センター
医療相談・看護相談室のご案内

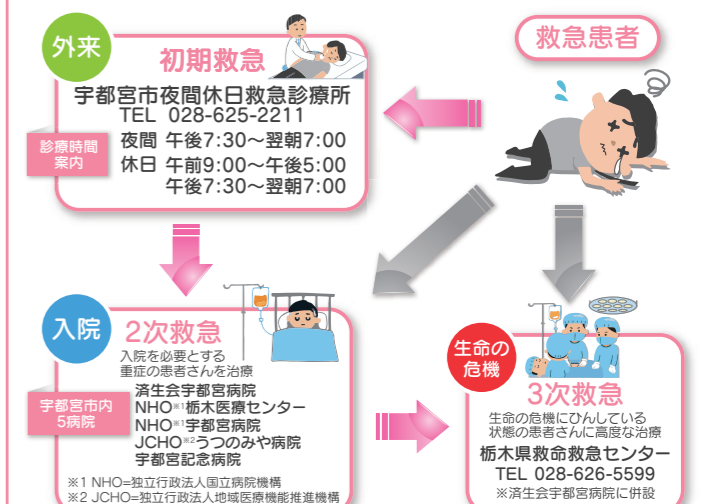
がんの診断を受けた患者さんやそのご家族に対し、専門のスタッフ(専門・認定看護師、医療ソーシャルワーカー)がサポートいたします。「がんと言われて辛い…」「こんな時どうしたらいいの…」「今後のことを考えたい…」「誰かに聞いてもらいたい…」こういった不安やお困りのことがありましたら、どうぞお立ち寄りください。

▶当院は、「地域がん診療連携拠点病院」です。電話と面談による相談をお受けしております。

☎028-626-5500(代)
【内線】3245



栃木県からのお知らせ
救急医療体制のお知らせ



栃木県からのお知らせ
救急電話相談のご案内

子どもの救急電話相談(概ね15歳未満の方)

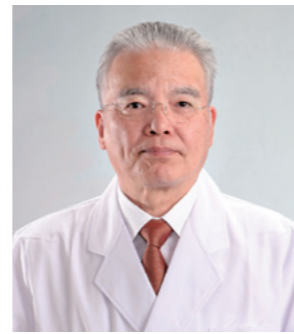
☎028-600-0099 局番なしの #8000
月~土 午後6:00~翌朝8:00
日祝日 午前8:00~翌朝8:00(24時間)

大人の救急電話相談(概ね15歳以上の方)

☎028-623-3344 局番なしの #7111
月~金 午後6:00~午後10:00
土日祝 午後4:00~午後10:00

急な病気やケガなどで心配な時にご利用ください。経験豊富な看護師が家庭での対処法や、救急医療の受診の目安などをアドバイスします。

リレーエッセイ



前院長小林健二先生のご勇退を受け、4月より栃木県済生会宇都宮病院の院長職を拝任いたしました。伝統ある地域中核病院の運営を担ってまいり責任の重さに、身の引き締まる思いを感じております。

さて、本院の沿革については何度にもわたって本誌でもご紹介させていただいておられますので繰り返すことは控えますが、本院は明治天皇の「済生勅語」を受けて設立された社会福祉法人であり、地域医療に貢献することを最大の目的としていたことは今一度確認させていただきます。

そのため、本来の業務である高度急性期医療の提供のみならず、恵まれない人々に対する無料低額診療、生

院長就任のご挨拶

活困窮者・性暴力被害者支援事業、病児保育事業などの福祉事業にも注力してまいりました。

現在、当院には約200名の医師をはじめとして、およそ1500名の職員が勤務しており、ともに高い意志を持った方々であると感じます。また、多くの方々の記憶に新しいところであると思いますが、昨年までの足かけ5年にわたる大増改築、改修により、新しいICU/CCU(集中治療室)、ハイブリッド手術・ロボット支援手術が可能な手術室等が完成し、当院は高度急性期医療を提供する施設としてさらに一層の充実を図ることができました。

これらは前小林院長の大きな功績であります。今後

院長 野間 重孝

も、有効に活用し、さらにここで立ち止まることなく明日に向かって更なる進歩を目指すことが、私たちの役割であると認識しております。現状に立ち止まるとなく明日に向かって進んでいく、これが当院の伝統であり、誇りであると信じています。

わたしたちは満足度の高い医療を提供するため、技術面だけでなく、コミュニケーション、療養環境などを高める努力をしなくてはならないと考えます。患者さんから信頼され、選ばれ、そして愛される病院になることを目指して全職員が一丸となって努力する所存です。何卒宜しくお願い申し上げます。

ちょこっとメモ 5月2日

緑茶の日

お茶文化の振興を図ることを目的として設立された、公益社団法人日本茶業中央会が1990年に制定しました。立春から数えて「八十八夜(はちじゅうはちや)」が茶摘みの最盛期であることから5月2日が「緑茶の日」となっています。

緑茶には「カテキン」が豊富に含まれており、殺菌作用、消臭効果、脂肪燃焼などの効果が期待されています。風邪や花粉症の予防にも効果的なので日常的に飲むことをおすすめします。

しかし、緑茶には「カフェイン」も含まれており、摂取しすぎると睡眠障害などのデメリットが現れる可能性がありますので、過剰な摂取はせず、ほどほどな量を心掛けましょう。

編集後記

みやのわ 編集スタッフのわ

温かく過ごしやすい季節となりましたが、皆さまはいかがお過ごしですか。今年も新しい「ロケール」の影響で春の風物詩とも言えるお花見や歓送迎会が自粛ムードとなつてしまいましたが、そんな中でも春の訪れを感じる方法は色々あります。

桜や花々がいつも通る道沿いに咲いているのを目にする、気持ちがあふわつと明るくなります。菜の花やたけのこ、春キャベツ、新玉ねぎなど、春の食材で旬な料理を作ってみるのもいいですよ。院内ではこの季節、フレッシュな新人職員が目にとまります。新しい仲間がやってくる、私も就職した頃の初心を思い出して、新鮮な気持ちになつてきます。

さて最後になりましたが、「いつもみやのわ」をご愛読いただきありがとうございます。感想などございましたら是非お寄せください。